

令和4年度 公私連携型子育て支援施設 こどもの城
事業報告概要及び評価

報告期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

公私連携保育法人	社会福祉法人 県央福祉会
指定期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
所管課	こども部 こども総務課、ほいく課

1. 事業報告概要

(1) 施設運営の基本方針

運営法人の基本理念にて示される「時代の変化にともなうニーズに即した保育と子育て支援をプロデュース」すること、また大和市と運営法人が締結した「こどもの城の管理運営に係る協定書」の基本的理念に示される「施設の効用を最大限に発揮し、乳幼児の福祉を積極的に推進すること」を念頭に置き、当施設を利用する全ての利用者に満足していただくこと、また保育や相談事業を通して子育て支援の一端を担うことを基本方針として、令和4年度も運営いたしました。

(2) 事業の実施状況

① 共通事項

1) 情報提供に関する取組み

当施設の事業計画書や、保育所の重要事項説明や保育計画等を利用者が閲覧できる玄関に設置し、また、当施設のホームページよりこどもーる大和の情報や保育所の「一時預かり事業のしおり」等をダウンロードできるようにして、利用を希望する方が気軽に情報を得られるようにしました。

2) 利用者の誘致・拡大に関する取組み

昨年度に引き続き、運営法人の事業所や、近隣の店舗等に一時預かり事業やこどもーる大和のチラシを掲示・配布をする等、市民の認知度を高め、こどもの城に足を運んでもらえるように取り組んでまいりました。隣接するやまと公園が令和5年2月にリニューアルオープンして以降、問い合わせや見学者数も増えており、今後はSNSなどの活用も検討しています。

3)利用者からの要望・苦情への対応

利用者からの要望・苦情については施設内だけでなく、苦情解決責任者や第三者委員、また運営法人の窓口や大和市ほいく課を通し受け付けました。また、投書箱の設置や利用者アンケート、通園児との個別面談などを通し要望等を伺い、改善に生かすようにしました。

【いただいた要望・苦情とその対応】

	要望・苦情の内容	対応
1/25	(匿名) 一時預かりの申し込みをしたところ、「お母さんの努力義務がある」等強い口調で言われ断られた。	市のFAQからの情報を受け、一連の対応について職員へヒアリングし、その上で今後の一時預かりの受け入れについて再確認する。 ・当施設事業としての一時預かりの意義と姿勢については再度全職員が共有する。 ・その上で、物理的に受け入れが厳しい事情の場合については、齟齬を防ぐため園長・主任等が対応し、事情を沿えての謝罪、および他の日時等の「提案」を行う。

4)セルフモニタリングの結果

施設における自己点検、および令和5年2月に利用者アンケートを実施し、施設の課題を客観的に出すことで、改善に繋げていきました。なお、利用者アンケート等については掲示ならびにこどもの城ホームページにて公表をしています。

【主な課題と改善策】

課題	改善策
イベント(自主事業)は増えてきたが、低年齢児対象のものが少ない。	コロナ感染対策が変わってきたことも踏まえ、回数・内容も更に充実させ、低年齢の児童、ならびに保護者も楽しめるイベント等の企画を練っていく。
(保育所)衛生面を考えた、持ち物の見直し	保護者からの意見を基に、衛生面と業務効率、保護者負担の軽減から、手拭きタオルの持参を無しとする。
事務室から玄関にいる利用者に声がかからない	視覚的に事務室より保護者の姿が見えない場合もあるため、座り位置を変える等工夫を行う。
(こども一る)もっと長時間の利用をしたい	コロナ感染対策が変わってきたことも踏まえ、時間・人数制限の見直しを行う。

5)第三者評価機関による評価の受審状況

令和4年度は受審しておりません。

6)法定の指導監査等の実施状況

令和4年12月13日に神奈川県および大和市の確認指導を実施。

文書指摘事項1点（睡眠中の安全確保、健康観察）

口頭指摘事項・（県・市）園児の入所時健康診断の遅延

- ・（県）受領した現金の取り扱い（入金処理）
- ・（市）転園時の情報提供についての保護者同意

※文書指摘については、監査後に研修を実施。また、ルール遵守のための整備を行い、県および市に改善報告書を提出。

② 各事業の実施状況

1)認可保育所

ア)基本情報

「公私連携型保育所ななつぼし 運営規程」を参照

イ)サービス提供に関する取組

待機児童対策として、多くの低年齢児を受け入れるにあたり、安全・安心を第一にまた出来る限り一人ひとりに寄り添い、保護者と「できた」ことを喜び合える保育を実践してきました。

（主な年間行事）

- ・入園オリエンテーション 4月
- ・クラス懇談会 4月
- ・こどもの日のつどい 5月
- ・保育参加 6月
- ・七夕 7月
- ・水遊び 7～8月
- ・引き渡し訓練 9月
- ・運動会 10月
- ・個別面談 10～12月
- ・クリスマス会 12月
- ・保育参加（おゆうぎ会）1月
- ・節分 2月
- ・ひな祭り 3月
- ・（毎月）誕生会、避難訓練・消防訓練、身体測定

ウ)事業報告

【低年齢児保育 在籍数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
0歳児	5	5	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	89
1歳児	23	24	24	23	24	24	24	23	24	24	24	24	285
2歳児	28	27	27	28	28	27	26	26	26	26	27	27	323
計	56	56	58	59	60	59	58	57	58	58	59	59	697

【一時預かり利用者数（延べ人数）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
0歳児	53	33	49	45	34	75	99	106	105	118	125	144	986
1歳児	97	96	120	94	77	93	104	103	87	96	95	107	1,169
2歳児	45	46	56	45	28	61	59	51	52	43	51	62	599
3歳児	9	14	19	19	28	5	6	8	7	6	4	13	138
4歳児	4	0	0	1	0	5	6	0	4	2	1	17	40
5歳児	1	0	0	0	8	4	7	9	2	6	2	5	44
計	209	189	244	204	175	243	281	277	257	271	278	348	2,976

【休日保育利用者数（延べ人数）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
0歳児	1	6	9	14	7	10	11	12	11	8	11	9	109
1歳児	6	17	5	7	4	8	4	5	11	3	2	2	74
2歳児	9	12	6	5	6	19	15	18	14	10	12	15	141
3歳児	7	9	1	3	2	4	7	3	9	12	11	13	81
4歳児	5	12	2	8	7	12	12	14	10	14	11	14	121
5歳児	8	10	5	5	4	6	6	5	9	7	5	5	75
計	36	66	28	42	30	59	55	57	64	54	52	58	601

【育児相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
発育	4	2	2	4	3	4	9	3	3	6	9	6	55
生活	10	8	9	10	3	6	4	3	6	12	8	6	85
健康	2	1	3	12	8	7	5	4	6	5	7	4	64
家庭	0	0	0	0	0	2	1	2	3	0	0	0	8
しつけ	2	0	1	1	0	3	2	3	0	0	0	0	12
他	0	4	5	4	14	9	14	9	2	1	0	0	62
計	18	15	20	31	28	31	35	24	20	24	24	16	286

【病児保育（体調不良対応型）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
計	8	18	14	16	19	11	19	18	24	9	18	16	190

- ・低年齢児については年度当初は0歳児で定員割れしておりましたが、6月以降充足しました。
- ・1歳児室は部屋が広く合同保育や休日保育でも使用します。また、成長発達が著しい1歳児は軽傷やヒヤリハットも多く、パーティションや柵を使った部屋の分けや、保育者間のコミュニケーションについてより綿密に行うなど、改善を続けております。
- ・前年度より引き続き新型コロナ感染対策を行いつつ、なるべく保護者とは連携をとり、また園児の活動を多くみていただくよう、保育参加や個別面談を行い、また園児の活動の様子を写真やYouTubeで公開する等を行いました。保護者からも視覚的な発信に対しては好評で、「楽しみにしています」と期待と感謝の言葉を多くいただきました。
- ・大きなクレームも前年度に比較して減少しましたが、前年度に続き一時預かりについてのご意見をいただく事例がありました。毎日登園してくる低年齢児保育と異なり、不特定の園児・保護者に対応する一時預かりはより丁寧な説明ややり取りが必要となります。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、
 - 7月に1歳児クラスが3日間、
 - 8月に2歳児クラスが3日間
 - 9月に1歳児クラスが2日間、0歳児クラスが2日間のクラス閉鎖を行いました。

2)送迎ステーション事業

ア)基本情報

「こどもの城 幼稚園送迎ステーション事業実施要領」を参照

イ) サービス提供に関する取組

通常期は、幼稚園で頑張っている園児たちが気兼ねなく遊べる場として、一方で夏休み等の終日ステーションを利用する時期は「こどもの城」を利用しているからこそ体験できる様々なイベント・レッスンを体験できるようにと企画し、実施しました。

(自主事業)

- ・プログラミング教室 通年(6~3月)
- ・トランスフィットネス(体を動かし遊ぼう) 4,5月
- ・タケちゃんのおもちゃ箱(忍者教室・劇遊び) 8,9月
- ・ダンス教室 8月
- ・トランスミュージック(音楽を楽しもう) 12,3月
- ・フラダンス体験 12月
- ・空手教室 3月
- ・サッカー教室 3月

ウ)事業報告

【在籍数、ならびに利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
2・3歳児	16	18	18	19	19	18	18	19	20	20	20	20	225
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	239
5歳児	10	10	11	12	12	11	10	8	8	8	8	8	116
計	46	48	49	51	51	49	48	47	48	48	48	47	580
利用者数 (延べ)	628	676	734	608	546	571	585	622	578	513	603	739	

【提携幼稚園別】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大和	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
やなぎ	17	18	18	19	19	18	17	17	17	17	17	17
桜ヶ丘	10	10	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12
小鳩	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
みどりが丘	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
モミヤマ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
あけぼの	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
横浜さがみ	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
計	46	48	49	51	51	49	48	47	48	48	48	47

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、7月に2日間のクラス閉鎖を行いました。
- ・提携幼稚園とは夏季に各園を訪問し、また電話等で都度情報共有を行ってまいりました。

3)地域子育て支援拠点事業

ア) 基本情報

大和市からの委託事業として「こどもーる大和」を運営しています。子育て親子が気軽に集い、相談・情報提供・講習などのサービスを受けることができる場所を提供しています。

イ) サービス提供に関する取組

- ・子育て親子の交流・集いの場の提供

12月29日～1月3日を除く毎日 9:00～17:00

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員制・入替制で実施

※7月26日～31日は新型コロナウイルス感染の影響で臨時休所

- ・子育てに関する相談・援助の実施

電話・来所相談	12月29日～1月3日を除く毎日 9:00～17:00 ※7月26日～31日は臨時休館のため相談受付も休止
専門家による 個別相談	・育児相談 年間2回 ・食育相談 年間21回 ・発育相談 年間21回 ・言語聴覚士による発達相談 年間9回

- ・ 地域の子育て関連情報の提供
 - 他のこどもーる、シリアスの情報提供
 - 保育園で実施している「遊びの広場」等の情報提供
 - 市内の子育てサークルや育児講座等の情報提供

- ・ 子育て及び子育て支援に関する講習の実施
 - 育児講座 年 13 回
 - 歯科指導 年 4 回
 - 離乳食講座 年 3 回
 - 助産師によるおっぱい講習会 年 2 回
 - その他 自主企画講座 随時

- ・ 地域の多様な世代との連携の実施
 - 地域育児センター 連絡調整会議への参加
 - 母親クラブ、国際ソロプチミスト、ソレイユの会、よみよみの会等地域団体との連携

- ・ 要配慮家庭等に対する相談 44 件

- ・ 行事イベントの実施 年 66 回

ウ) 事業報告

【利用者数（延べ数）】

	0歳	1歳	2歳	その他	こども 合計	保護者	合計
年間合計	2,872	4,309	1,944	83	9,208	8,835	18,043

- 新型コロナウイルス感染対策として、時間・人数を制限し、入れ替えの際に施設・遊具等の消毒を行いました。

【相談の状況】

・相談件数

教育・発達	生活習慣	健康	家庭	栄養	育児・しつけ	その他	合計
2,051	1,493	984	1,027	786	1,586	901	8,828

・要配慮家庭等に対する相談・援助の状況

職員の配置日数	246日						
相談件数	多胎	障がい	その他	合計			
	13	24	7	44			

- 親子で遊べるスペースの提供とともに、子育ての相談も多く受け、「睡眠時間など生活リズムについて」「子どもの発達について(寝返りをしない、指差しをしない、歩かない、言葉が少ないなど)」「卒乳のタイミングについて」等来所する利用者の声に耳を傾け、都度アドバイスをを行いました。また、こどもーるでの相談を受け、一時預かりや送迎ステーションの見学や登録に繋がる事例も多くみられました。

【子育て及び子育て支援に関する講習会等】

開催日	事業名・テーマ	参加人数
4/5, 5/12, 6/6, 6/30, 7/14, 8/10, 9/9, 10/12, 11/16, 12/14, 1/18, 2/15, 3/15	育児講座	256人
5/16, 7/8, 11/7, 2/20	歯科指導	94人
9/13, 9/16, 1/24	離乳食講座	56人
10/25, 3/14	助産師によるおっぱい講習会	31人
3/14	ハローワーク講座	21人
6/15	お薬のはなし	15人

【地域の多様な世代との連携】

団体名等	内容	実施時期
地域育児センター	連携連絡会議・情報	10月
母親クラブ連絡会	カーネーションのプレゼント	5月
国際ソロプチミスト	お菓子の寄付	8月、10月
ソレイユの会	絵本の読み聞かせ	月1回
よみよみの会	絵本の読み聞かせ	月1, 2回
市民グループ	「大和っこまつり」の実施	年1回
市民グループ	フラダンス教室の実施	年1回

【行事イベント】

開催日	事業名・テーマ	参加人数
4/18, 21, 22, 5/24, 25, 26, 6/22, 23, 24, 8/23, 24, 9/20, 21, 22, 10/26, 27, 28, 11/21, 22, 12/16, 17, 1/25, 26, 28, 2/21, 22, 3/24, 25	おたんじょう会	1,295人
1/29, 30, 31, 2/2, 3	節分のつどい	368人
5/15, 16, 17, 6/26, 28, 29, 8/1, 8/7	つくってあそぼう	273人
12/22, 12/23	クリスマス会	232人
2/23, 26, 28	ひなまつり製作	226人
6/7, 21, 11/9, 1/10, 20, 3/9, 3/22	お外であそぼう	207人
12/9, 1/13, 2/17, 3/17, 3/29	トランスミュージック	200人
1/4, 5, 6	お正月あそび	154人
10/31	ハロウィンまつり	120人
6/18, 19	父の日カード作り	112人
1/25, 3/22	ベビーマッサージ	45人
12/3	パパトーク「しゃべりば」	15人

(3) 施設の維持管理状況

① 基本的な考え方

「こどもの城の管理運営に係る協定書」に基づき、乳幼児が利用する施設として、安全・衛生面において常に良好な状態が保てるよう、清掃、衛生管理、点検等を常に行いました。

② 管理業務の実施状況

- ・ 日常の清掃については用務職員、および各職員が分担し施設内外の清掃を行いました。また、安全点検については、主に終業時に遅番職員が周り、異常箇所がないかチェックしました。
- ・ 設備等に不具合が生じた場合、大和市や施工業者等に報告、相談をし、早急に対応することを心掛けました。
- ・ 電気設備、各通報装置等については、定期的に業者による点検を実施しました。

③ 安全管理及び緊急時の対応

- ・ 先述のとおり日常の点検等を行い、万が一設備等に不具合が生じた場合、副館長または園長より大和市や施工業者等に報告、相談をし、早急に対応することを心掛けました。

④ 環境への配慮と経費低減への取組み

- ・ 廃材（牛乳パックや段ボール等）を利用し、保育で使う備品（パーテーションやうわばき入れ等）を作るなど、保育環境作りの中で再利用等を行いました。また食品ロスを減らすために園庭にコンポストを設置、また保護者のご協力のもと早い時期からの登園予定を確認することで、給食食材の無駄を減らし、同時に必要経費の削減にもつなりました。

(4) 運営組織・人員体制について

① 組織体制

- ・ こどもの城全体として館長・副館長を据え、保育所ななつぼしにおいては園長、主任、副主任、各キャリアリーダーをはじめとする組織を構成し、こども一る大和については副館長が兼務し管理、非常勤職員が業務にあたりました。保育所ななつぼし・こども一る大和ともに年度内に離職者はおらず、安定した職員配置にて運営することができました。

② 職員の育成

- ・ 施設・法人内外の研修に参加し、それぞれが保育や子育て支援の研鑽に努めました。昨年度課題となっていた公私連携型子育て支援施設としての役割や使命の理解については、会議や研修で協定書の読み合わせや地域実情の理解を行うなど機会を作り、職員それぞれが当施設で果たすべきことについて意識を高めることができました。

③ 個人情報の保護

- ・職員へ対しては研修等で個人情報保護について学び、また日常業務の中でも、昼礼等にて外部への情報漏洩を行わないことを意識的に注意喚起しました。また、「こどもの城 情報公開規程」を定め、情報公開を求められた際の手続き等について明示し、個人の情報がみだりに公開されず守られる仕組みを作っております。利用者へもその旨を入所時に説明し、個人情報取り扱いについての同意書を交わしております。

④ 文書管理

- ・文書は鍵のついた書庫にて厳重に管理し、またデータについても他者からのアクセスができないよう、端末およびネットワークに高いセキュリティをかけています。

2. 管理運営に係る経費の収支概要

(1) 施設の収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
利用料等の収入 (保育所ななつぼしの延長保育料、送迎ステーションおよび一時預かりにおける利用料等)	17,377,315	人件費 (雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生費等)	152,154,650
委託費、および補助金等 (各事業に関する市からの補助金)	166,835,959	事務費・事業費等の支出 (事業を行う上で購入や支払った額)	35,120,522
その他収入 (従業員からの給食費等)	3,609,121	施設整備等に関する支出	1,594,824
拠点区分間長期借入金収入	31,770,637	その他の支出 (積立資産支出)	1,385,000
収入計	219,593,032	支出計	190,254,996

収支決算	29,338,036
------	------------

3. 事業についての総括

運営2年目となり、1年目で課題であった「利用者の拡大」と「支援事業の充実」については、まだまだ途上ではありますが確実に広がりを見せております。全国的にも類を見ない施設の多機能性を生かし、より多くの方々が満足して利用できるよう、大和市と相談しながら運営を行ってまいりました。また利用者からのご意見を踏まえて改善を常に行っております。

各事業の連動性や継続性であったり、強みを生かしたサービスの展開については、まだまだ課題もあり、改善の余地はあります。

新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が撤廃され、人の動きが活発になってきたと共に、保育所を利用する、または子育て支援施設に来所する方もより増加しています。また、隣接するやまと公園のリニューアルオープンは当施設にとっても更なる認知度を上げ、利用者の拡大に繋がる良い機会であります。「こどもの城」だから出来る体験、また「こどもの城」ならではの子育て支援事業を工夫し行えればと思います。

これまでと同様、安全かつ状況に応じた活動を展開していくと共に、今のニーズを捉え、来所された方すべてが笑顔で過ごし、未来を生きる子どもたちが最善の利益を得られる、遊びと生活の場としての施設づくりを引き続き行ってまいります。

3. 事業評価

公私連携型子育て支援施設こどもの城の事業の実施状況について、事業報告書、毎月の連絡調整会議での運営状況の確認、定期及び随時の現地確認の結果を踏まえ、以下のとおり評価します。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、公平で平等な利用の機会が確保されたか。

【保育所ななつばし・送迎ステーション】

- ・ 一時預かり事業について、子どもの利用が多い近隣施設へのチラシ配布など広報活動を継続し利用者数の増加を図った結果、緊急的保育と非定型保育を合わせて、年間延べ利用人数が2,976人となり、市内の保育所で最も多くの児童に利用された点を評価します。
- ・ また、様々な家庭の状況や子どもの発達特性等により受け入れを限定することなく、利用者に寄り添った公平な保育の提供に努め、また、突発的な事由による預け入れの申請に対しても臨機応変に受け入れを行っていることを確認しました。
- ・ 休日保育について、年間延べ利用人数が601人と多くの利用者の受け入れを行い、保護者の多様な働き方に応じた保育ニーズの受け皿となっています。
- ・ 昨年度、助言した現金の管理について、金融機関への納入期限が定められ、適切に管理されていることを確認しました。

【こどもーる大和】

- ・ 昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、時間・人数制限を継続した運営となりましたが、年間延べ利用人数が18,043人となり、多くの方に利用されています。
- ・ 利用者からの意見を元に、市と協議のうえ各回の利用時間を延長する等、多くの利用者にとって活用しやすい環境づくりができています。

評価の視点2：施設の効用を最大限に発揮した事業運営が行われ、提供するサービスの向上が図られたか。

【保育所ななつばし・送迎ステーション】

- ・ 職員一人ひとりが子どもの発達具合を理解し、子どもの目線に立った保育を意識するなど、子どもの最善の利益を考慮した保育提供に努めていることを確認しました。
- ・ トランスフィットネス、プログラミング教室、ダンス教室など、外部講師を招聘した魅力的な取組を自主事業として実施し、保育プログラムの充実を図ったことを評価します。今後検討されている3歳未満児向けの自主事業や親子を対象としたイベントなど保育プログラムの拡充に期待します。
- ・ 運動会の実施後に保護者アンケートを実施し、意見の汲み取りや課題の抽出等、改善に向けて取り組んでおり、今後も、提供する保育内容について、保護者との相互理解に努めてください。
- ・ 市内施設及び周辺施設へのパンフレットの配架、ホームページやSNS等を活用した事業の周知を図り、子育て世帯の抱える不安や悩みなど、潜在ニーズの汲み取りに注力し、子育て

支援施設として更なる役割を果たすことに期待します。

- ・ 提携幼稚園との定期的な情報交換を通じて、課題事項の確認及び改善に取り組むなど施設間の連携をより密にするよう努めてください。

【こども一る大和】

- ・ 言語聴覚士や栄養士による専門的な個別相談を通じ、要配慮家庭を含めた多くの利用者への的確な援助ができています。
- ・ 新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、イベントを積極的に開催するとともに、地域連携の活動も充実する等魅力ある事業運営を図っています。特に、保育所ななつぼしの屋上庭園を活用した外遊びの日を実施するほか、こども一るでの相談から一時預かりや送迎ステーションの利用へ繋げる等、施設の特徴を生かした一体的な子育て支援ができている点を評価します。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理を通じ、安全衛生水準の向上が図られたか。

- ・ 定期の避難訓練に加え、乳幼児の心肺蘇生法や AED の使用方法についての研修機会を継続して確保し、緊急時の安全対策の向上に努めてください。
- ・ 軽傷ではありますが怪我の事例が多く報告されています。児童一人ひとりの発達に留意するとともに原因と予防策を具体的に検討し、保育士の見守り体制を見直すなど、同じ児童・同じ環境での事故の減少や、安全な保育環境の維持に努めてください。
- ・ 保育の質の向上を目的とした職種や担当別の研修に加え、全ての職員を対象として、多機能型の子育て支援施設として期待される役割とその責務を認識する研修機会の確保に努めてください。
- ・ 外構を含めた施設の適切な維持管理に努めてください。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか。

- ・ 組織体制について、保育所ななつぼし及びこども一る大和において離職者が発生することなく、安定的な体制が維持されたことを評価します。
- ・ 市との協定に基づいた多機能型の子育て支援施設として、多様な事業を展開していることを踏まえ、職員間における保育観を共有し、連携強化のため風通しの良い保育環境を構築するとともに、定期的に現場保育士からの意見や課題等を吸い上げ、法人と一体となって改善に取り組むなど、適切な職場環境の維持に努めてください。